

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 地域防災計画事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about disaster prevention plans and organizational changes.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for disaster prevention activities and citizen awareness.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input and personnel costs for 2016, 2017, and 2018. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計, 人件費.

Table showing the breakdown of expenses (事業費の内訳) for 2017 actual and 2018 budget. Includes items like 11 需用費, 12 役務費, 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 2018, 2019, and 2020. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	地域防災計画事業	事務事業No.	40101000666	所属課	生活安全課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
災害対策基本法に基づき、合併前のそれぞれの町村の地域防災計画を統合し平成19年3月に桜川市地域防災計画を策定した。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、国の防災基本計画や県の地域防災計画が見直されたことや、その際の教訓を活かすため、平成24年度に計画を全面的に見直し、平成25年3月に全面改定を行った。更に、平成25年6月に災害対策基本法が一部改正されたことを受けて、平成27年3月に桜川市地域防災計画の一部を修正した。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
住民からは、災害対策の充実強化に期待が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
防災意識の高揚を図り、地域の協力や災害時の日頃の備えを強化してもらうために、災害対策啓発事業を充実させる。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域防災計画を充実させることは、防災力を向上させることになり、総合計画の快適で潤いのある生活環境づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域防災計画の策定は、災害対策基本法に定められた市の責務であるので、公共の関与は妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地区ごとの防災計画を作成し防災体制の充実・強化を図ることにより、成果を向上させることができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止すると災害対策に支障をきたし、市民の安心安全に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	災害対策基本法に基づくもので、他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は、防災会議委員の報酬であり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	全市民を対象とした計画であり、公正で公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	全国各地で大規模な災害が発生する中、国の災害対策指針等の改正に合わせて市の地域防災計画の改定を行う必要がある。今後は、国で推進している「地区防災計画」の作成に向けて、普及啓発活動を実施するものとする。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持																								
(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地区防災計画の作成にあたっては、地域住民の理解と協力を得る必要があるため、地区懇談会等を開催し防災意識の高揚を図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		⑤																						
コスト削減優先度評価結果		⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>